

目標達成計画

作成日: 平成 26年 8月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.36	経験が浅く、若年層の職員が多い為、接遇や利用者様への声かけが雑になるときがあり、不適切な言動があればその都度注意している状況が見られる。	職員一人一人が利用者様の人権を尊重した声かけやプライバシーに配慮した支援が行えるようになる。	月一回の会議にて接遇に対する勉強会を行い、一人一人の意見の中から、共通の認識と声かけができるよう勉強会を行う。また、外部の研修には積極的に参加し、接遇に対するスキルアップを図る。	12ヶ月
2	No.35	年二回の避難訓練は行っているが、日勤者のみでの避難訓練で、夜勤専門の方を踏まえた避難訓練を行う必要がある。また、地域住民の方にも参加して頂く必要がある。	年二回の避難訓練にて地域住民(消防団等)の方に参加して頂き、夜勤専門による避難訓練を行う。	9月～10月に二回目の避難訓練を行う予定にしており、その際は夜勤専門、地域住民の方に参加して頂く。	3ヶ月
3	No.2 No.4	地域の会議や自治会への参加があまり出来ておらず、運営推進会議においても、家族や区長、民生委員などの参加が少ないのが現状である。	地域の会議や自治会に出席し、関わりを深め運営推進会議への、家族を含めた参加状況の改善を行う。	なぜ、家族様の参加が少ないのかを具体的に検討し(会議ではなく交流会等)参加しやすい環境整備を行う。地域の会議、自治会には積極的に参加し地域との関係を深め、運営推進会議へ区長、民生委員、地域の方の常時参加を促す。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。